

2004年5月14日

2004年3月期 決算説明会

業績の状況

2004年度の経営方針

主要開発品の状況

杏林製薬株式会社

2004年3月期 決算概観（連結）

売上面では、国内医療用医薬品はガチフロが前年の緊急安全性情報の影響を受け、前年を下回る実績で推移し515億円（前年比▲5.7%減）となりました。海外売上は、BMS社およびアラガン社向けの輸出が増加したものの契約一時金収入の減少により85億円（前年比▲5.4%）となり、その結果、連結売上高は650億円（前年比▲5.2%減）となりました。

利益面では、連結営業利益は87億円（前年比▲29.1%減）となりましたが、当期純利益は厚生年金基金の代行部分返上による特別利益計上等により56億円（前年比38.1%増）となりました。

単体では、売上高635億円（前年比▲5.5%減）、営業利益87億円（前年比▲28.8%減）、当期純利益55億円（前年比51.7%増）となりました。

来期は、薬価改定（改定率3.7%）の影響や契約一時金収入の減少が見込まれるものの、キプレス、ガチフロなど国内医療用医薬品売上の増加により、連結売上高660億円（前年比1.4%増）を見込みます。利益面は、研究開発費の増加により連結営業利益65億円（前年比▲25.8%減）、連結当期純利益34億円（前年比▲40.3%減）を見込んでいます。

単位： （百万円）	01年3月期	02年3月期	03年3月期	04年3月期	前年比	連単倍率	05年3月期 （見込み）	前年比
売上高	55,832	62,395	68,618	65,061	▲5.2%	1.02	66,000	1.4%
営業利益	9,049	11,961	12,367	8,766	▲29.1%	1.00	6,500	▲25.8%
経常利益	9,786	12,210	12,805	8,597	▲32.9%	1.03	6,800	▲20.9%
当期純利益	2,951	4,117	4,120	5,692	38.1%	1.03	3,400	▲40.3%
EPS	51.27円	※60.55円	47.21円	68.76円	—	1.03	45.16円	—
総資産	125,476	134,472	139,961	121,355	▲13.3%	1.01	—	—
株主資本	99,750	102,356	105,318	91,856	▲12.8%	1.01	—	—

※2001年11月20日付けをもって額面普通株式1株を1.5株に分割

2004年3月期 業績の状況(連結)

単位:百万円

		03年3月期 (実績)	04年3月期 (実績)
売上高		68,618	65,061
医薬品事業	国内医療用	54,656	51,546
	海外医療用	9,024	8,533
	その他	3,612	3,510
医薬品外	販売促進・広告の企画制作	1,325	1,471
営業利益		12,367	8,766
経常利益		12,805	8,597
当期純利益		4,120	5,692

<当期のポイント>

売上高 65,061百万円 (36億円) (2億円)
 国内医療用 51,546百万円 (31億円) (18億円)

= プラス要因 = 03.3実績 04.3実績
 ・キプレス続伸 64 98 (+34)
 ・ムコダイン 171 180 (+9)

= マイナス要因 =
 ・ガチフロ 47 17 (30)
 ・国内医療用その他 65 25 (40)
 *大日本製薬向けガチフロキサシン売上減少

海外医療用 8,533百万円 (5億円) (+20億円)

= プラス要因 =
 ・ガチフロ 51 71 (+20)
 *BMS社「テクイン」の下げ止まり
 アラガン社 点眼剤「ザイマー」の上市(4月)

= マイナス要因 =
 ・ノルフロキサシン 15 11 (4)
 ・契約一時金収入の減少

その他 3,510百万円 (1億円) (6億円)
 ・ミルトン 30 27 (3)

医薬品事業外 1,471百万円 (+1億円) (+2億円)

営業利益 8,766百万円 (36億円) (1億円)

営業利益率は13.5%と4.5ポイント低下
 原価率:前年比3.5ポイント上昇(30.9% 34.4%)
 *一時金収入の減少、原価率の低いガチフロ錠の売上減
 研究開発費率:前年比2.4ポイント上昇(10.2% 12.6%)
 *70億円 82億円、約12億円増加
 販管費率(除R&D費):前年比 1.4ポイント低下(40.9% 39.5%)
 *販売費等の削減努力によりR&D除販管費は約24億円減少

当期純利益 5,692百万円 (+16億円) (23億円)
 特別利益・厚生年金基金代行部分返上(約4.4億円)
 特別損失・KRP-297製造設備の除却(約1.7億円)
 ・野木工場製造設備の臨時償却(約1.3億円)
 ・野木工場退職金特別加算金(約1.0億円)

配当 18円00銭(見込みに対して2円増配)

2005年3月期 業績の見込み(連結)

単位:百万円

		04年3月期 (実績)	05年3月期 (見込み)
売上高		65,061	66,000
医薬品事業	国内医療用	51,546	52,300
	海外医療用	8,533	8,300
	その他	3,510	3,900
医薬品外	販売促進・広告の企画制作	1,471	1,500
営業利益		8,766	6,500
経常利益		8,597	6,800
当期純利益		5,692	3,400

<当期のポイント>

売上高 66,000百万円 (+9億円)

国内医療用 52,300百万円 (+8億円)

= プラス要因 = 04.3実績 05.3見込み

・キプレス 98 115 (+17)

・ガチフロ 17 27 (+10)

= マイナス要因 =

・国内医療用その他 25 11 (-14)

* 契約一時金収入の減少と薬価改定(改定率3.7%)の影響

海外医療用 8,300百万円 (-2億円)

= プラス要因 =

・ガチフロ 71 76 (+5)

= マイナス要因 =

・ノルフロキサシン 11 4 (-7)

その他 3,900百万円 (+4億円)

・ミルトン 27 28 (+1)

・スイッチOTC製品の売上拡大

医薬品事業外 1,500百万円 (±0億円)

営業利益 6,500百万円 (-23億円)

営業利益率は9.8%と3.7ポイント低下

* 研究開発費は約42億円の増加を見込むが販管費(除R&D費)の大幅な削減により販管費増加の抑制を図る
薬価改定の影響や契約一時金収入の減少はあるものの野木工場人員84名の退職により原価率は横バイを見込む

・原価率…前年並み

・研究開発費率…6.2ポイント上昇(12.6% 18.8%)

* 研究開発費; 82億円 124億円

・販管費率(除R&D費)…2~3ポイント低下

当期純利益 3,400百万円 (-23億円)

・支店等の除却、早期退職による退職加算を見込む

配当 18円00銭

海外でのプラス要因

1. BMS社のテクイン売上

- ・米国テクインは2003年4Qより回復基調
(前年プラスに転じる)



2. アラガン社 ザイマーの続伸

- ・小児科領域におけるルパン製薬との
コ・プロモーション契約の締結(2004年4月)



国内の状況

1. ガチフロ0.3%点眼液の上市

1) 上市までのスケジュール

- ・千寿製薬申請(02年末)
- ・2004年3Qの上市を見込む

2) 売上目標(千寿製薬販売)

- ・初年度20億円
- ・ピーク時売上100億円(3~5年後)

2. ガチフロ錠国内成長シナリオの再構築



1) ガチフロ有用性を最大に訴求

- ・肺炎/下気道感染症におけるファーストライン薬
としての位置付け
- ・耳/泌 難治性疾患でのポジショニング確保

2) 2004年度見込みの背景

- 04年度は、年間平均月商2.5億円/月を目指す
- * 03年下期処方拡大のためプロモーションを再開
(03年度下期の平均月商は約2.1億円/月)

	2002年 実績	2003年 実績	2004年 見込み
海外ガチフロ 売上計	\$248MM (0)	\$245MM (\$30MM)	\$280MM (\$50MM)
杏林売上高	51億円	71億円	76億円

* 海外ガチフロ売上はテクインとザイマーの売上合計
()内の数値はザイマー売上 出典; IMSデータ

ガチフロ錠: キョーリン販売 ()内な中間期

2004年3月期実績

2005年3月期見込み

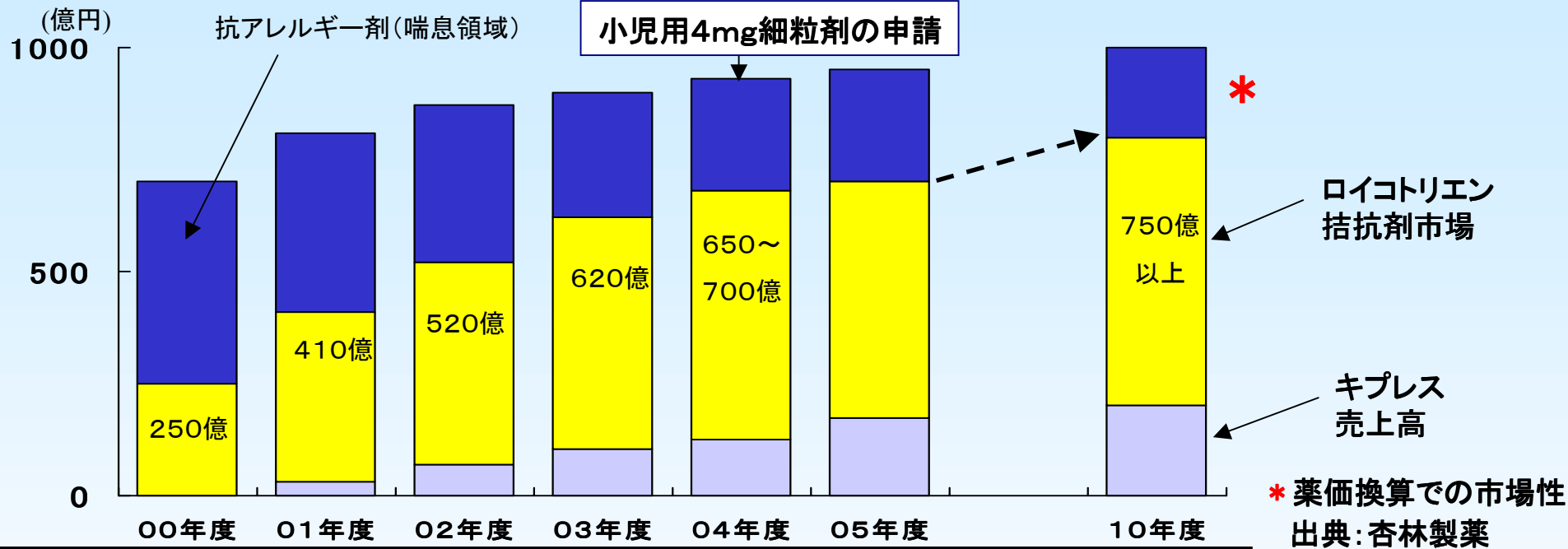
17億円(6億円)

27億円(11億円)

成長要因 ②キプレスの伸長

抗アレルギー剤及びLT拮抗剤市場の推移

ライフサイクルマネジメントの継続



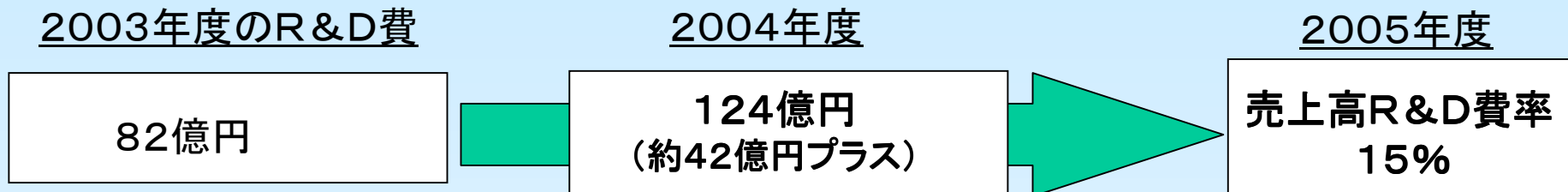
*薬価換算での市場性
出典: 杏林製薬

- ### LT拮抗剤市場拡大の背景
- 喘息患者の増加(3~5%)
 - その他抗アレルギー剤からの処方シフト
 - 高い有用性(有効性と安全性)

FC戦略の強化推進 → LT拮抗剤市場の拡大

LT拮抗剤市場でのシェア25%の早期達成

1. 成長に向けた研究開発投資の拡大



<2004年度研究開発費の大幅な増加の背景>

- 承認申請の早期実施(計画の前倒し)
 - ・KRP-197 ・キプレス細粒(乳幼児用;1~5才)
* 2004年度内申請を見込む
- 海外治験による開発の加速化(POCのスピードアップ)
 - ・KRP-101(Ph II a) ・N-5984(Ph II a)
- 創薬研究施設 米国サテライト研究所新設検討

2. 2004年度の上市及び申請予定

2004年度上市予定

- ・N-3389(シンセロン錠)
- ・ガチフロ点眼液(千寿製薬)

2004年度申請予定

- ・KRP-197
- ・キプレス細粒

2004年度
ポイント(2)

研究開発の加速化: 「NEXT ONE」への積極投資

○サテライト研究所

欧州

キョーリンスコットランド
研究所(2000年11月設立)

免疫・アレルギー領域

00~03年 9億円投資

03~06年 8億円投資

代謝性疾患

02~05年 10億円投資

米州

検討中

○ベンチャー企業

米州

ActivX Bio社
DPI社 他

製薬企業

○その他

大学・外部研究機関

「国際的に通用する新薬の開発のために…」

キョーリン創薬研究所

重点領域

感染症

免疫・アレルギー

代謝性疾患

コア領域

NQ剤他

PDE研究他

PPAR他

POC: 2テーマ/年を目標

今年度のPh I 入り 2品目を目指す

ターゲットの特定

リード探索

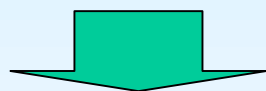
リード化合物の最適化

POCテーマ

ローコストオペレーションの推進

1. コスト構造の改革

- ① 新生産体制の2拠点化
- ② 野木工場の閉鎖(06年3月末)と能代製剤工場の新設(約80億円を投資)
- ③ アウトソーシングの活用による生産人員の減少
 - ・01年度350名体制→06年度200名体制へ
 - *ただし能代工場稼働まで一時的に派遣社員を採用



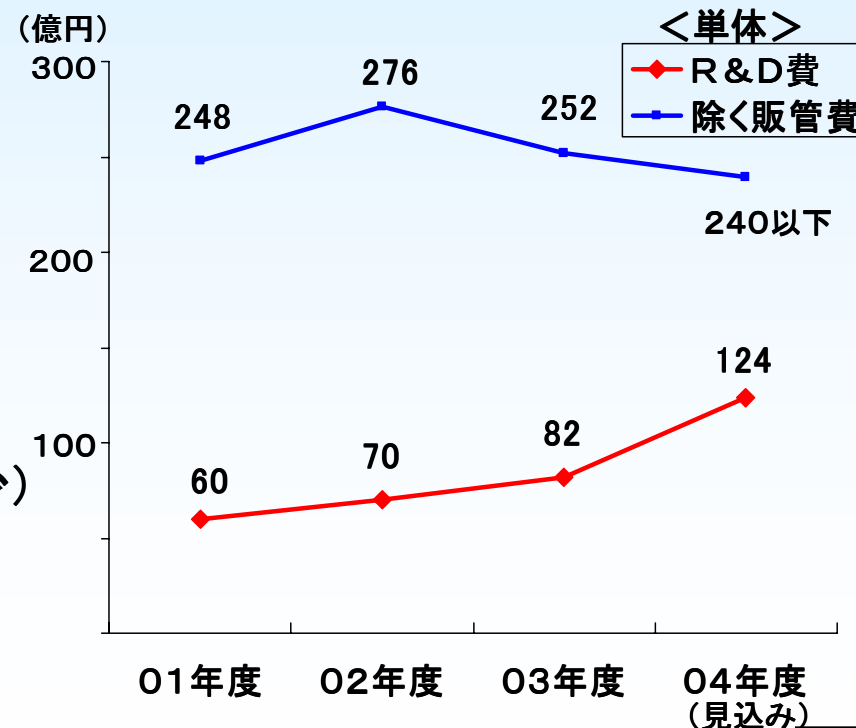
FDA対応の品質レベル確保
固定費の変動費化

2. 販売費及び一般管理費の低減

- ① 企業広告費の削減
- ② 人件費の抑制(年齢構成の是正、退職給付費用の減少)
- ③ その他一般経費の削減



R&D費は拡大するものの販管費の増加を抑制



戦略的な投資/アライアンスの積極的推進

アライアンス戦略の強化

金庫株の活用

株式交換etc.

自己株式の公開買付け

- 2003年12月
- 買付株式総数
1170万株

手元流動資金の
積極的な活用

製品・事業の獲得

- 製品の導入
- 医薬品事業、健康貢献事業など

M&A、積極的投資

組織機構の変更

●経営戦略本部の新設

経営企画部

製品戦略部

既存事業成長の加速／新規事業；次なる夢に投資

執行役員制度の導入

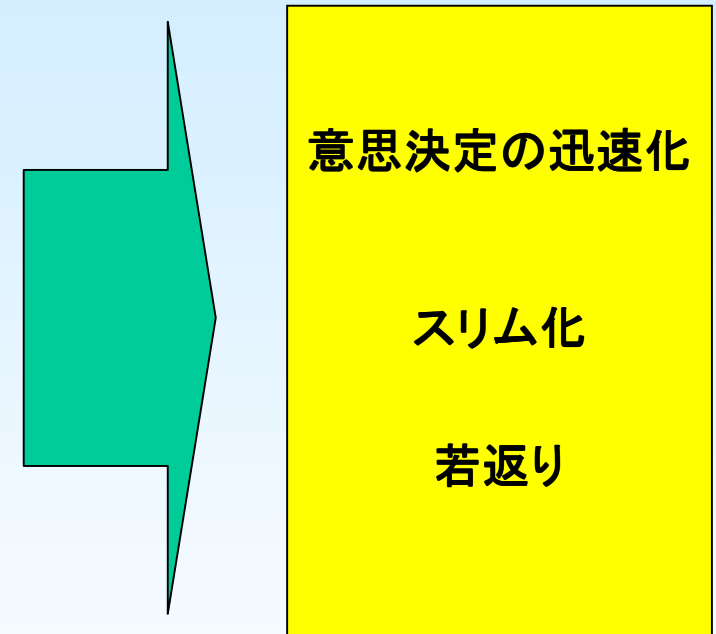
- 取締役: 経営の意思決定及び業務執行の監督機能
- 執行役員: 業務執行機能

取締役数の最適化

- 本年6月開催予定の定時株主総会に付議
15人を10人へ

組織機構の変更

- 経営戦略機能の強化
 - ・ 経営戦略本部(経営企画部及び製品戦略部)を新設
- 開発から市販後までの信頼性を一元管理する体制の確立
 - ・ 信頼性保証室の新設
- 本社組織のスリム化
 - ・ 組織の統廃合と新設により部署数を6つ削減



2004年度 経営方針

< 基本方針 >

「進化と創造：新たな企業価値の創出」
- 目標完達に向けた実行力の発揮 -

< 重点項目 >

1 . 戦略機能の強化

- ・ 戦略的な投資 / アライアンスの積極的推進による事業・製品の獲得
- ・ ガチフロ錠国内成長シナリオの再構築
- ・ 経営改革の推進

2 . M I C - ' 0 5 計画継続テーマの推進と成果の獲得

- ・ 「NEXT ONE」への積極投資
- ・ 市場環境に合わせた営業改革
- ・ 原価低減と無駄の徹底排除

開発品一覧 (2004年3月31日現在)

開発段階	製品名・開発コード	薬効	起源	特徴	備考
*承認 (04年1月)	N-3389 (錠)	制吐剤	日清製粉	5-HT3と5-HT4拮抗作用を併せ持つ。	日清キョーリン製薬が単独で申請 ・日清製粉グループ 日清ファルマと 共同開発
PhⅢ	KRP-197 (錠)	尿失禁治療剤	自社	抗コリン作用が強く、口渇等の副作用軽減が期待される。	海外: 英国においてPh I 終了 国内: 小野薬品工業と共同開発・販売
PhⅡ/Ⅲ	モンテルカスト	気管支喘息治療剤	メルク社	小児(1歳~5歳)用の新規製剤	○ 剤形追加 ○ 用法・用量の変更 ・万有製薬と共同開発
*PhⅢ	ペキロン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤。	マルホと共同開発
Ph I	N-5984 (錠)	糖尿病治療剤 抗肥満剤	日清製粉	選択性の高い β 3受容体作動薬。高血糖及び耐糖能、高インスリン血症を改善すると共に血漿中TG、FFAを低下させる。	・日清製粉グループ 日清ファルマと 共同開発
Ph I	KRP-101	高脂血症治療剤	自社	PPAR α の選択的agonist。LDLコレステロールおよび中性脂肪を低下させ、HDLコレステロールを高めることにより、トータルの脂質プロファイルの改善が期待できる。	海外: 英国においてPh I 終了

* 開発中でありましては、開発を中止いたします

* :03年12月情報開示内容からの変更点を示す

開発品一覧 (2004年3月31日現在)

導出品の状況

製品名・開発コード	導出先	開発段階	薬効	起源	備考
ガチフロキサシン 点眼液	千寿製薬	申請中 (2002年末)	合成抗菌剤	自社	日本における開発、製剤及び販売権を供与 * 2004年4月 第二部会通過(承認を了承)

2004年3月期 決算概要

財務諸表の概況

新規事業の拡充 —新しい事業開発の現状—

1. ビストナー事業ファンドの状況

- ・設立 2000年9月
- ・出資額 50億円(既出資額 30億円 **既投資額 17億円**)
- ・対象領域 「医薬品関連」「医療関連」「介護関連」「健康関連」

投資案件

領域
<医薬品領域> ゲノム創薬など
<医療領域> 代替医療 再生医療 ITなど
<介護領域> 施設経営 在宅介護 関連製品など
<健康領域> 食品 化粧品など



投資件数	投資先の事業内容
3	・殺菌消毒剤(食肉用等) ・ウイルス性肝炎、関節リウマチ等の治療薬開発 ・機能性ペプチドを用いた創薬、健康食品・スキンケア製品の開発/製造/販売
6	・C型肝炎の温熱治療装置・治療法の研究開発 ・非侵襲的医療関連計測機器の開発 ・レーザーによる近視治療の事業化 ・医学文献/医療情報等のネットワーク配信サービス ・PET画像診断センター設立企画/運営支援 ・医療施設/医療機器の賃貸および医療経営コンサルティング *1
4	・有機汚泥処理システム(介護用トイレなど)の事業化 ・介護施設の運営・コンサルタント ・介護ヘルパー用等ASPソフト開発/販売
7	・化粧品/健康食品通信販売 ・汚水処理用各種担体の事業化 ・証券会社(中国の漢方、健食等の情報強化) ・農業用資材/農産物流通事業 ・食品素材と製品開発を中心とした事業化 ・スキンケア用品開発/販売(2社) *2

合計20件投資

*1;新規投資先 *2;(株)ジモス 04年3月公開

損益計算書の概要：連結

(単位：百万円)

	03年3月期		04年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	68,618	100.0%	65,061	100.0%	▲ 5.2%	▲3,557
売上原価	21,205	30.9%	22,389	34.4%	5.6%	1,184
売上総利益	47,413	69.1%	42,671	65.6%	▲10.0%	▲4,741
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	35,045 (7,009)	51.1% 10.2%	33,905 (8,219)	52.1% 12.6%	▲ 3.3% (17.2%)	▲1,140 (1,209)
営業利益	12,367	18.0%	8,766	13.5%	▲29.1%	▲3,601
営業外収益	822	1.2%	546	0.8%	▲33.5%	▲ 275
営業外費用	384	0.6%	715	1.1%	85.9%	330
経常利益	12,805	18.6%	8,597	13.2%	▲32.9%	▲4,207
特別利益	41	0.1%	5,382	8.2%	*	5,341
特別損失	4,757	6.9%	4,506	6.9%	▲5.3%	▲ 251
税金等調整前 当期純利益	8,088	11.8%	9,474	14.5%	17.1%	1,385
法人税・住民税 及び事業税	6,607	9.6%	3,398	5.2%	▲48.6%	▲3,209
法人税等調整額	▲ 2,639	▲ 3.8%	383	0.6%	*	3,023
当期純利益	4,120	6.0%	5,692	8.7%	38.1%	1,571

< 適応範囲及び持分法の適用について >

連結子会社5社：(株)杏文堂 (株)ピストナー
ピストナー番号投資事業有限責任組合
Kyorin USA, Inc Kyorin Europe GmbH
持分法適応会社2社：日清キョーリン製薬(株)
日本理化学薬品(株)

損益計算書の概要：連結 -

(単位:百万円)

	03年3月期		04年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	68,618	100.0%	65,061	100.0%	▲5.2%	▲3,557
国内医療用	54,656	79.6%	51,546	79.2%	▲5.7%	▲3,110
海外医療用	9,024	13.2%	8,533	13.1%	▲5.4%	▲491
その他	3,612	5.3%	3,510	5.4%	▲2.8%	▲102
医薬品事業外	1,325	1.9%	1,471	2.3%	+11.0%	+146

< 当期のポイント >

対前期 対見込み

売上高 65,061百万円 (36億円) (2億円)

国内医療用 51,546百万円 (31億円) (18億円)

= プラス要因 = 前期実績 当期実績

- ・キプレス続伸 64 98 (+34)
- ・ムコダイン 171 180 (+9)

= マイナス要因 =

- ・ガチフロ 47 17 (30)
- ・国内医療用その他 65 25 (40)

* 大日本製薬のガチフロキサシン売上減少

海外医療用 8,533百万円 (5億円) (+20億円)

= プラス要因 =

- ・ガチフロ 51 71 (+20)

* BMS社「テクイン」の下げ止まり
アラガン社 点眼剤「ザイマー」の上市(4月)

= マイナス要因 =

- ・ノルフロキサシン 15 11 (4)
- ・契約一時金収入の減少

その他 3,510百万円 (1億円) (6億円)

- ・ミルトン 30 27 (3)

医薬品事業外 1,471百万円 (+1億円) (+2億円)
(販売促進、広告の企画制作)

損益計算書の概要：連結 -

(単位：百万円)

	03年3月期		04年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	68,618	100.0%	65,061	100.0%	▲5.2%	▲3,557
売上原価	21,205	30.9%	22,389	34.4%	5.6%	1,184
売上総利益	47,413	69.1%	42,671	65.6%	▲10.0%	▲4,741
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	35,045 (7,009)	51.1% 10.2%	33,905 (8,219)	52.1% 12.6%	▲3.3% (17.2%)	▲1,140 (1,209)
営業利益	12,367	18.0%	8,766	13.5%	▲29.1%	▲3,601
営業外収益	822	1.2%	546	0.8%	▲33.5%	▲275
営業外費用	384	0.6%	715	1.1%	85.9%	330
経常利益	12,805	18.6%	8,597	13.2%	▲32.9%	▲4,207
特別利益	41	0.1%	5,382	8.2%	—	5,341
特別損失	4,757	6.9%	4,506	6.9%	▲5.3%	▲251
税金等調整前 当期純利益	8,088	11.8%	9,474	14.5%	17.1%	1,385
法人税・住民税 及び事業税	6,607	9.6%	3,398	5.2%	▲48.6%	▲3,209
法人税等調整額	▲2,639	▲3.8%	383	0.6%	—	3,023
当期純利益	4,120	6.0%	5,692	8.7%	38.1%	1,571

< 当期のポイント >

- 売上原価 22,389百万円 (+12億円)
 - 売上原価率 30.9% → 34.4% (+3.5ポイント)
 - 【原価率上昇要因】
 - ・一時金収入の減少、原価率の低いガチフロ錠の売上減
- 研究開発費 8,219百万円 (+12億円)
 - 研究開発費率 10.2% → 12.6% (+2.4ポイント)
- 販管費(除R&D費) 25,686百万円 (▲24億円)
 - 販管費率 40.9% → 39.5% (▲1.4ポイント)
 - ・研究開発費は約12億円増加したが、販売費等の削減努力により研究開発費を除く販管費は約24億円減少
- 営業利益 8,766百万円 (▲36億円)
 - 営業利益率 18.0% → 13.5% (▲4.5ポイント)
- 経常利益 8,597万円 (▲42億円)
 - 経常利益率 18.6% → 13.2% (▲5.4ポイント)
 - 【営業外収益】 275百万円減
 - 【営業外費用】 330百万円増
- 当期利益 5,692百万円 (+16億円)
 - 【特別利益】 5,341百万円増
 - ・厚生年金基金代行部分返上益 4,475百万円
 - 【特別損失】 251百万円減
 - ・固定資産売却・除却損 1,771百万円
 - ・固定資産臨時償却益 1,330百万円
 - ・特別退職金 1,071百万円

貸借対照表の概要：連結

(単位:百万円)

	03年3月期		04年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	101,095	72.2%	81,198	66.9%	▲19,896
現金および預金	57,607		39,235		
受取手形及び売掛金	23,522		22,560		
有価証券	3,523		4,221		
棚卸資産	10,809		9,408		
その他流動資産	5,631		5,772		
固定資産	38,866	27.8%	40,157	33.1%	1,291
有形固定資産	15,058		14,702		
無形固定資産	5,293		4,858		
投資その他	18,514		20,595		
流動負債	15,780	11.3%	14,261	11.7%	▲1,518
支払手形及び買掛金	5,003		5,618		
その他流動負債	10,776		8,642		
固定負債	18,863	13.5%	15,237	12.6%	▲3,626
負債合計	34,643	24.8%	29,498	24.3%	▲5,144
資本金	4,317	3.1%	4,317	3.6%	
資本剰余金	949	0.7%	949	0.8%	
利益剰余金	100,643	71.9%	104,735	86.3%	
その他有価証券評価差額金	69	0.0%	2,478	2.0%	
為替換算調整勘定	7	0.0%	▲4	0.0%	
自己株式	▲668	▲0.5%	▲20,619	▲17.0%	
資本合計	105,318	75.2%	91,856	75.7%	▲13,461
総資産合計	139,961	100.0%	121,355	100.0%	▲18,605

<当期のポイント>

■ 流動資産：19,896百万円減

- ・現金、預金の減少 (18,372百万円減)
- ・自己株式の取得 (19,890百万円)
- ・受取手形、売掛金の減少 (961百万円減)
- ・有価証券の増加 (697百万円増)
- ・棚卸資産の減少 (1,400百万円減)

■ 固定資産：1,291百万円増

- ・有形固定資産の減少 (355百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (435百万円減)
- ・投資その他の増加 (2,081百万円増)

■ 流動負債：1,518百万円減

- ・その他流動負債の減少 (2,133百万円減)

■ 固定負債：3,626百万円減

- ・退職給付引当金の減少 (3,640百万円減)

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況 < 連結 >

(単位:百万円)

	00年3月期	01年3月期	02年3月期	03年3月期	04年3月期		05年3月期 (見込み)
					実績	前同比	
研究開発費	5,764	6,191	6,031	7,009	8,219	17.3%	12,400
設備投資(計上ベース)	1,303	2,465	2,507	3,301	5,670	71.8%	4,000
減価償却費	2,903	2,735	3,213	3,637	4,774	31.7%	3,200

< 設備投資の状況(実績/計画) >

(実績)

新製品製造設備・製造機械設備(各工場)

支店社屋・社宅新築

管理・販売設備

04年3月期実績

32億円

9億円

9億円

05年3月期計画

(計画)

能代新製剤工場建設投資、その他生産設備(各工場)

管理・販売設備

29億円

7億円

主要製品売上の状況

(単位:億円)

		00年3月期	01年3月期	02年3月期	03年3月期	04年3月期		05年3月期 (見込み)
						実績	前 同 比	
国内 売 上	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	—	—	31	64	98	52.1%	115
	ガチフロ(自社販売) (合成抗菌剤)	—	—	—	47	17	▲62.6%	27
	ムコダイン (去痰剤)	155	161	175	171	180	5.4%	185
	バクシダール (合成抗菌剤)	26	21	17	12	9	▲20.7%	7
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	71	75	75	70	70	0.1%	69
	アプレース (抗潰瘍剤)	48	45	43	34	29	▲13.6%	24
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	38	38	38	30	27	▲10.8%	24
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	33	40	45	53	60	13.3%	61
	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	30	29	29	30	27	▲9.9%	28
海外 売 上	海外売上合計	69	86	121	90	85	▲5.4%	83
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	27	55	98	51	71	40.5%	76
	ノルフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	25	23	18	15	11	▲25.7%	4
	海外売上比率	13.4%	15.8%	20.1%	13.4%	13.4%	—	12.9%
自社品比率		83.1%	82.4%	84.0%	86.6%	83.5%	—	84.0%

主な業績項目の推移：連結

< 通 期 >

(単位:百万円)

	00年3月期	01年3月期	02年3月期	03年3月期	04年3月期	05年3月期 (見込み)
売上高 (輸出高)	52,776 (6,900)	55,832 (8,646)	62,395 (12,127)	68,618 (9,024)	65,061 (8,533)	66,000 (8,300)
売上原価 (売上原価率)%	16,742 (31.7%)	17,974 (32.2%)	19,336 (31.0%)	21,205 (30.9%)	22,389 (34.4%)	
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	27,387 (51.9%)	28,808 (51.6%)	31,101 (49.8%)	35,045 (51.1%)	33,905 (52.1%)	
研究開発費 (研究開発費率)%	5,764 (10.9%)	6,191 (11.1%)	6,031 (9.7%)	7,009 (10.2%)	8,219 (12.6%)	12,400 (18.8%)
営業利益 (営業利益率)%	8,646 (16.4%)	9,049 (16.2%)	11,957 (19.2%)	12,367 (18.0%)	8,766 (13.5%)	6,500 (9.8%)
経常利益 (経常利益率)%	8,795 (16.7%)	9,786 (17.5%)	12,210 (19.6%)	12,805 (18.6%)	8,597 (13.2%)	6,800 (10.3%)
当期純利益 (当期純利益率)%	4,310 (8.2%)	2,951 (5.3%)	4,117 (6.6%)	4,120 (6.0%)	5,692 (8.7%)	3,400 (5.2%)
一株当たり当期純利益(円)	74.89円	51.27円	60.55円	47.21円	68.76円	45.16円
資本金	3,623	3,623	4,317	4,317	4,317	4,317
総資産	117,606	125,476	134,472	139,961	121,355	
株主資本	97,868	99,750	102,356	105,318	91,856	
一株当たり株主資本(円)	1,700.20円	1,732.98円	1,187.30円	1,222.61円	1,234.80円	
株主資本利益率%	4.5%	3.0%	4.1%	4.0%	5.8%	
株主資本比率%	83.2%	79.5%	76.1%	75.2%	75.7%	
人員	1,713人	1,696人	1,731人	1,719人	1,652人	
設備投資	1,303	2,465	2,507	3,301	5,670	4,000
減価償却費	2,903	2,735	3,213	3,637	4,774	3,200

02年3月期の1株あたりの当期純利益は年間期中平均株式数(67,996,650株)にて算出しております。
04年3月期の1株あたりの当期純利益は年間期中平均株式数(82,179,034株)にて算出しております。

損益計算書の概要：単体 -

<単体>

(単位:百万円)

	03年3月期		04年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	67,293	100.0%	63,589	100.0%	▲5.5%	▲3,704
国内医療用	54,656	81.2%	51,546	81.1%	▲5.7%	▲3,110
海外医療用	9,024	13.4%	8,533	13.4%	▲5.4%	▲491
その他	3,612	5.4%	3,510	5.5%	▲2.8%	▲102

<当期のポイント>

	対前期	対見込み
売上高	63,589百万円 (37億円)	(3億円)
国内医療用	51,546百万円 (31億円)	(18億円)
= プラス要因 =	前期実績	当期実績
・キプレス続伸	64	98 (+34)
・ムコダイン	171	180 (+9)
= マイナス要因 =		
・ガチフロ	47	17 (30)
・国内医療用その他	65	25 (40)
* 大日本製薬のガチフロキサシン売上減少		
海外医療用	8,533百万円 (5億円)	(+20億円)
= プラス要因 =		
・ガチフロ	51	71 (+20)
* BMS社「テクイン」の下げ止まり アラガン社 点眼剤「ザイマー」の上市(4月)		
= マイナス要因 =		
・ノルフロキサシン	15	11 (4)
・契約一時金収入の減少		
その他	3,510百万円 (1億円)	(6億円)
・ミルトン	30	27 (3)

損益計算書の概要：単体 -

<単体>

(単位:百万円)

	03年3月期		04年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上原価	20,230	30.1%	21,273	33.5%	5.2%	1,043
売上総利益	47,063	69.9%	42,315	66.5%	▲10.1%	▲4,747
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	34,698 (7,009)	51.6% 10.4%	33,515 (8,219)	52.7% 12.9%	▲3.4% (17.2%)	▲1,182 (1,209)
営業利益	12,364	18.3%	8,799	13.8%	▲28.8%	▲3,564
営業外収益	582	0.9%	490	0.8%	▲15.8%	▲91
営業外費用	706	1.1%	914	1.4%	29.4%	207
経常利益	12,241	18.1%	8,376	13.2%	▲31.6%	▲3,864
特別利益	40	0.1%	5,383	8.5%	*	5,343
特別損失	4,622	6.9%	4,506	7.1%	▲2.5%	▲116
税引前当期純利益	7,658	11.3%	9,253	14.6%	20.8%	1,595
法人税・住民税 及び事業税	6,532	9.7%	3,356	5.3%	▲48.6%	▲3,175
法人税等調整額	▲2,506	▲3.7%	385	0.6%	*	2,891
当期純利益	3,633	5.3%	5,512	8.7%	51.7%	1,878

<当期のポイント>

- 売上原価 21,273百万円 (+10億円)
 - 売上原価率 30.1% → 33.5% (+3.4ポイント)
 - 【原価率上昇要因】
 - ・一時金収入の減少、原価率の低いガチフロ錠の売上減
- 研究開発費 8,219百万円 (+12億円)
 - 研究開発費率 10.4% → 12.9% (+2.5ポイント)
- 販管費(除R&D費) 25,296百万円 (▲24億円)
 - 販管費率 41.1% → 39.8% (▲1.3ポイント)
 - ・研究開発費は約12億円増加したが、販売費等の削減
努力により研究開発費を除く販管費は約24億円減少
- 営業利益 8,799百万円 (▲36億円)
 - 営業利益率 18.3% → 13.8% (▲4.5ポイント)
- 経常利益 8,376百万円 (▲39億円)
 - 経常利益率 18.1% → 13.2% (▲4.9ポイント)
 - 【営業外収益】 91百万円減
 - 【営業外費用】 207百万円増
- 当期利益 5,512百万円 (+19億円)
 - 【特別利益】 5,343百万円増
 - ・厚生年金基金代行部分返上益 4,475百万円
 - 【特別損失】 116百万円減
 - ・固定資産売却・除却損 1,771百万円
 - ・固定資産臨時償却益 1,330百万円
 - ・特別退職金 1,071百万円

貸借対照表の概要：単体

(単位：百万円)

	03年3月期		04年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	99,023	71.5%	79,537	66.5%	▲19,486
現金および預金	55,986		38,089		
受取手形	523		451		
売掛金	22,694		21,699		
有価証券	3,412		4,109		
棚卸資産	10,782		9,416		
その他流動資産	5,624		5,769		
固定資産	39,460	28.5%	40,066	33.5%	605
有形固定資産	15,012		14,667		
無形固定資産	5,289		4,855		
投資その他	19,158		20,543		
流動負債	15,520	11.2%	13,875	11.6%	▲1,644
支払手形	1,077		1,237		
買掛金	3,354		3,806		
その他流動負債	11,088		8,831		
固定負債	18,772	13.6%	15,184	12.7%	▲3,588
負債合計	34,293	24.8%	29,060	24.3%	▲5,232
資本金	4,317	3.1%	4,317	3.6%	
資本剰余金	949	0.7%	949	0.8%	
利益剰余金	99,547	71.9%	103,462	86.5%	
その他有価証券評価差額金	42	0.0%	2,430	2.0%	
自己株式	▲664	▲0.5%	▲20,616	▲17.2%	
資本合計	104,191	75.2%	90,543	75.7%	▲13,648
総資産合計	138,484	100.0%	119,604	100.0%	▲18,880

<当期のポイント>

■ 流動資産：19,486百万円減

- ・現金、預金の減少 (17,896百万円減)
- ・自己株式の取得 (19,890百万円)
- ・売掛金の減少 (994百万円減)
- ・棚卸資産の減少 (1,365百万円減)

■ 固定資産：605百万円増

- ・有形固定資産の減少 (345百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (434百万円減)
- ・投資その他の増加 (1,385百万円増)

■ 流動負債：1,644百万円減

- ・その他流動負債の減少(2,256百万円減)

■ 固定負債：3,588百万円減

- ・退職給付引当金の減少(3,610百万円減)

主な業績項目の推移：単体

< 通 期 >

(単位:百万円)

	0 0 年 3 月 期	0 1 年 3 月 期	0 2 年 3 月 期	0 3 年 3 月 期	0 4 年 3 月 期	0 5 年 3 月 期 (見込み)
売上高 (輸出高)	51,518 (6,900)	54,671 (8,646)	61,131 (12,127)	67,293 (9,024)	63,589 (8,533)	64,500 (8,300)
売上原価 (売上原価率)%	15,826 (30.7%)	17,102 (31.3%)	18,376 (30.1%)	20,230 (30.1%)	21,273 (33.5%)	
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	27,197 (52.8%)	28,589 (52.3%)	30,889 (50.5%)	34,698 (51.6%)	33,515 (52.7%)	
研究開発費 (研究開発费率)%	5,764 (11.2%)	6,191 (11.3%)	6,031 (9.9%)	7,009 (10.4%)	8,219 (12.9%)	12,400 (19.2%)
営業利益 (営業利益率)%	8,495 (16.5%)	8,980 (16.4%)	11,865 (19.4%)	12,364 (18.3%)	8,799 (13.8%)	6,500 (10.1%)
経常利益 (経常利益率)%	8,595 (16.7%)	9,524 (17.4%)	11,816 (19.3%)	12,241 (18.1%)	8,376 (13.2%)	6,600 (10.2%)
当期純利益 (当期純利益率)%	4,194 (8.1%)	2,800 (5.1%)	3,785 (6.2%)	3,633 (5.3%)	5,512 (8.7%)	3,300 (5.1%)
一株当たり当期純利益(円)	72.87円	48.65円	55.67円	41.63円	66.59円	43.84円
資本金	3,623	3,623	4,317	4,317	4,317	4,317
総資産	117,154	124,798	133,427	138,484	119,604	
株主資本	97,740	99,482	101,703	104,191	90,543	
一株当たり株主資本(円)	1,697.94円	1,728.19円	1,179.73円	1,209.54円	1,217.09円	
株主資本利益率%	4.4%	2.8%	3.8%	3.5%	5.7%	
株主資本比率%	83.4%	79.7%	76.2%	75.2%	75.7%	
人員	1,677人	1,648人	1,671人	1,658人	1,597人	
設備投資	1,303	2,465	2,507	3,301	5,668	4,000
減価償却費	2,903	2,730	3,207	3,626	4,763	3,200

02年3月期の1株あたりの当期純利益は年間期中平均株式数(67,996,650株)にて算出しております。
04年3月期の1株あたりの当期純利益は年間期中平均株式数(82,183,345株)にて算出しております。